

# 作業性能 大幅UP! (44%以上性能向上)

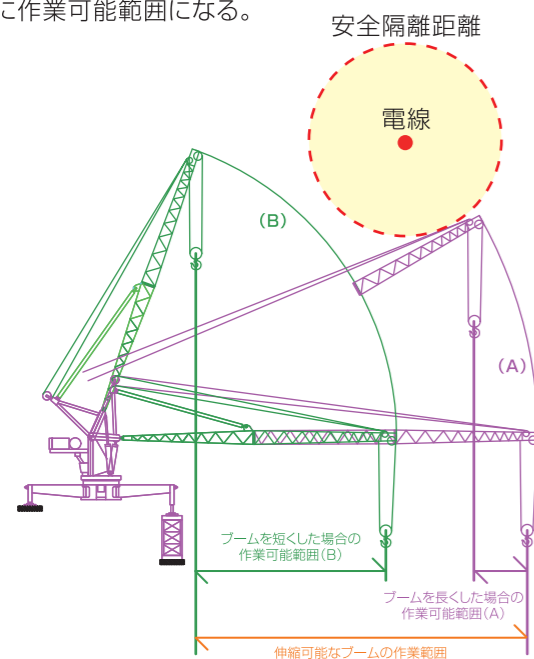
作業性能対比	MC300C	URW507C	比較	
作業範囲 (最大作業半径)	12.16 m	17.83 m	5.67 m	47 %UP!
定格荷重1t(作業半径)	5.5 m	8.5 m	3.0 m	55 %UP!
最大地上揚程(約)	12.66 m	18.2 m	5.54 m	44 %UP!

(株)前田製作所製「かにクレーン」MC300Cシリーズとの作業性能比較  
 ※(株)前田製作所製 上記 分解仕様の生産販売は終了

## 新設工事から更新工事へ 作業環境の変化に対応する 新たな選択

ジブクレーンの場合ブームを長くすると電線に触れてしまうため、伏せた状態で作業しなければならない。

伸縮可能なブームの場合は、A・Bともに作業可能範囲になる。



ジブクレーンでは作業範囲に制約が発生

### 作業環境が変化

現在、送電線工事の主流は、新設工事から建替・更新工事へと作業環境も大きく変化してきています。新設工事では上空や旋回範囲に、電線や既設鉄塔等は存在しませんが、現在はそれら制約条件が多く存在する環境の中で、安全性と施工性の向上が求められています。

### 変化に対応する新たな選択

新設工事は上空や旋回範囲に電線や既設鉄塔等の障害物が存在しない状況下での作業のため、ジブクレーンを設置後はジブクレーンのみで荷役作業が可能で敷地内の広い範囲に吊荷を移動させることが可能でした。

しかし、建替・更新工事に於いては、制約条件が多く新設工事と同様の施工方法では、安全性・施工性の低下が懸念されます。そのような環境変化に対応し、安全性・施工性の向上をもたらす新たな選択として、移動・再設置が容易で、国内史上最大の作業性能を誇る「ミニ・クローラークレーンの活用」という新たな選択の提供を実現しました。

### 「市街地～山岳地まで」広い作業環境で活躍します

大型のクレーンが入れない市街地でのクレーン作業から「ヘリ」や「モノレール」等による物輸を伴う山岳地での作業まで広い作業環境での活用を可能にしました。

軽トラック以下のコンパクトな横幅で走行し、設置場所を考慮すれば、ジブクレーンや小型ラフタークレーン規模の作業性能による幅広い作業環境での活躍が可能です。



### URW507Cシリーズ特殊分解仕様に関する

#### お問い合わせ先

#### 株式会社 KRMコーポレーション

〒500-8225 岐阜市岩地3-4-9 中部電気工業(株)内  
 TEL: 058-248-3344 / FAX: 058-248-3463  
 E-mail: info@krm-corp.com  
 HP: https://krm-corp.com



# 送電線工事業界に 凄いヤツがやってきた!!

国内史上最大

分解型ミニ・クローラークレーン

最大地上揚程 18.2m

作業性能 大幅UP!!

他社製 対比44%以上

新設工事 → 更新工事へ  
作業環境変化に対応する新たな選択

# URW507C

## 国内史上最大性能

(国内最大スペック)

「吊上げ性能」 2.93t×3.9m

「最大地上揚程」 18.2m



### 新規開発 特殊分解仕様 (単体ユニット質量1.5t以下)

✓ 「モノレール」や「ヘリ」「索道」等の搬入手段に対応するため、全ユニットの分解時単体質量1.5t以下

✓ 狭い作業敷地での分解・組立の作業効率を向上させるため、台車部単独での走行も可能に。

フック  
(30kg)



ブーム、テレシリンダ  
(1,040kg)



フレーム、コラム、デリックシリンダ  
(1,470kg)



アウトリガ、(縦)シリンダ、(横)シリンダ  
1,120kg(280kg×4本)



台車、ゴムクローラー  
(1,410kg)

